

有縁の皆さんでお読み下さい

すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる
己が身を引き比べて 殺してはならぬ 殺さしめてはならぬ

～ダンマパダ～

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.316



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

秋季彼岸会

九月十八日（日）

午前十時より十一時半まで
午後一時半より三時まで

勤行

『仏説阿弥陀經（訓読）』
（午前の部）

『正信念仏偈・和讃』
（午後の部）

法話

愛荘町下八木蓮照寺

八木晃隆 師

※できるだけだけの感染対策の準備は
していますが、体調のすぐれな
い方は無理をしないでください。



YouTube 純正寺チャンネル

LINE 純正寺公式アカウント



QRコードリーダーで読み込んでください。

9月25日（日）

10:00~11:30 13:30~15:00

こんき常例布教

法話：純正寺 釋 覚恵 住職

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

己が身に引き比べて

戦争の傷跡から学ぶべきこと・下

平和宣言

今年の八月も、戦争に関する様々な番組がテレビで放映され、全国各地で非戦・平和を願い誓う集いが開催されました。その中、九日に長崎県長崎市で開催された「平和祈念式典」で、田上富久長崎市長が「平和宣言」を読み上げられました。その冒頭で、長崎の原爆で被爆された渡辺千恵子さんのことに触れられました。

『核兵器廃絶を目指す原水爆禁止世界大会が初めて長崎で開かれたのは一九五六年。このまちに十五万人もの死傷者を出した原子爆弾の投下から十一年後のことです。被爆者の渡辺千恵子さんが会場に入ると、カメラマン達が一斉にフラッシュを焚きました。学徒動員先の工場で十六歳の時に被爆し、崩れ落ちた鉄骨の下敷きになって以来、下半身不随の渡辺さんがお母さんに抱きかかえられて入ってきたからです。すると、会場から「写真に撮るのはやめろ!」「見世物じゃないぞ!」という声が発せられ、その場は騒然となりました。その後、演壇に上がった渡辺さんは、澄んだ声でこう言いました。「世界

の皆さん、どうぞ私を写してください。そして、二度と私をつくらないでください」核保有国のリーダーの皆さん。この言葉に込められた魂の叫びが聴こえますか。「どんなことがあっても、核兵器を使つてはならない」と全身全霊で訴える叫びが」渡辺千恵子さんの叫びは、同時に私たち仏教徒・念仏者が未来永劫叫び続けなければいられない非戦・平和への叫びです。

仏教徒の基本理念

私たち仏教徒・念仏者の、戦争に対する揺るぎない基本理念は、最も古い原始経典のひとつ『ダンマパダ(法句経・真理の言葉)』に明確に述べられています。

「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身をひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」(第百二十九句)

「すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとつて生命は愛しい。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ」(第百三十句)以上、第十章『暴力』より

これは、世界中の仏教徒共通して守るべき五つの約束の第一「不殺生(生きものを殺してはならない)」を意味するものです。戦争は、いかなる理由があってもそれは「殺人」と「殺し合い」以外の何ものでもありません。

戦争協力の事実

しかし、欲望と邪悪な考えに満ちた今の人間社会では、この約束を守ることは簡単なことではありません。明治時代以降、日本が外国と交えた日清・日露・第一次世界大戦・第二次世界大戦では、私たちの宗派である浄土真宗本願寺派は、宗派を挙げて戦争に積極的に協力をしてきました。「天皇陛下のために死することは、阿弥陀様の願いに応え浄土に生まれることだ」と、僧侶・門徒を戦争に向かわせたのです。

昭和十二年からの日中戦争時には、非戦を訴える中国仏教の僧侶たちからの「日本の中国に対する戦争は人殺し。この愚かな行為

を止めるのは、我々と同じく「殺すことなかれ、殺さしめることなかれ」を表す日本仏教の役目だ」という言葉にも耳を貸さず、「一殺多生」という仏語を持ち出して従軍僧侶を中国に派遣し、中国各地に別院を建設して、教線拡大しつつ戦争に積極的に協力してきたのです。

明治以降、戦争に常に勝利してきた日本。その中で、戦争への協力は疑い無きことだったのでしょうか。ならば、昭和二十年の敗戦は、私たちに本当のことを教えてくれたに違いありません。

「戦場において百万人に勝つよりも、唯だ一つの自己に克つ者こそ、じつに最上の勝者である」(ダンマパダ第八章「千という数にち

なんで」(第百三句より)とあるように、仏教徒・念仏者者である私たちは世間の道理に従って戦争に協力する偽物の安穩ではなく、そうしてしまふ己の愚かさに向き合い打ち克つ真実の安穩を目指すことが大切です。

怒りと怨みではなく

それでは、具体的に私たちは戦争を起こさないためにどのようなことに気をつければよいのでしょうか。『ダンマパダ第一章「ひと組ずつ』にはこうあります。「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以つてしたならば、ついに恨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の真理である」

また『ウダーナヴェルガ

(威輿の言葉) 第二十章「怒り」には、「怒った人に対してして怒り返す人は、悪をなすことにあるのである。怒った人々に対して怒らないならば、勝ち難き戦にも勝つことになるであろう」とあります。

今の私たちの日常生活は、感じた怒りや怨みに対して怒りや怨みで返すことが多いのではないのでしょうか。そうであるならば、私たちの日常の考えや行動がすでに戦争に国全体を動かしているのかもしれない。逆に言えば、非戦・平和とは私たち仏教徒・念仏者が日常の暮らしの中で、怨みや怒りではないコミュニケーションを心がけることにより実現していけるものだと、私は仏教から学ぶのです。

今月のエコキャップ 一、四九六、三八六個

今年の夏休みも、子どもから大人までたくさんの方々から協力いただき、八月も九四六〇個のキャップが集まりました。



純正寺9月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

10日(土)・24日(土)
16:00~18:00
就学前・小・中学生対象
『らいはいのうた』のお勤めをした後、住職が仏典童話の読み聞かせをします。

みんなの食堂ビハーラ

8日(木)・22日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません
子ども同士や親子で過ごす楽しい夕食のひと時。コロナの状況によっては、テイクアウトに変更も。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

13日(火)・27日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません
お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くても柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

15日(木)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません
日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

暑さ寒さも「秋季彼岸会」

18日(日) 10:00~15:00
年齢性別は問いません
西方浄土に往生されたご先祖がくださる仏法聴聞のご縁です。ご法話は、愛荘町下八木蓮照寺の八木晃隆師です。

世のなが安穏なれ「ビハーラ彦根」

18日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません
参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

19日(月・祝)
16:00~18:00
小学生・中学生対象
教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

こんき常例布教

25日(日)
10:00~11:30.13:30~15:00
年齢・性別などは問いません
所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は、純正寺住職の「カルト宗教と浄土真宗と私」ほかです。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45
年齢・性別など問いません
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVEで生配信もします。

ご心配をおかけしました
八月後半は、住職一家全員が新型コロナウイルス感染症に罹患してしまいました。住職・坊守の自宅隔離療養期間中は、月参りやご法座を休止させていただきました。ご門徒の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。申し訳ありませんでした。申し訳ありませんでした。おかげさまで完治致しましたので、九月からは通常通りの寺院活動に戻らせていただきます。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる悩みは、早めに気軽にご相談下さい。
相談予約専用電話番号は
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp